

ことばのバリアフリー

～「やさしい日本語」の活用～

アイデア内容

日本語を共通言語と捉え、様々なシーンで「やさしい日本語」を有効活用し、情報提供、外国の人とのコミュニケーションをはかることで、誰もが住みたい、安心して住める高松市を目指す。

「やさしい日本語」とは。。。。

簡易な表現を用いる、文の構造を簡単にする、漢字にふりがなを振るなどして、日本語に不慣れな外国人にもわかりやすくした日本語。

外国人への情報伝達を目的として考案された言葉だが、小さな子どもや高齢者、障害を持った人を対象に情報を発信する際にも活用できる。

参考サイト

『[NEWS WEB EASY - NHKオンライン](https://www3.nhk.or.jp/news/easy/)』 <https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>

具体的な事業内容(案)

1. 「やさしい日本語」の基礎知識・活用方法の研修
 - 各課担当者へ向けての研修
 - 各課内での研修
2. 各課のニーズに応じた「やさしい日本語」の活用
 - 各課のノウハウを活かしたツール(標準票)の作成
3. 全体での情報共有、ツールの集約

都市交流室

① 「やさしい日本語」の紹介、基礎知識、活用方法などノウハウ提供

担当者

担当者

担当者

ツール、情報の共有

△△課

△△課

△△課

② 「やさしい日本語」ツール

③ 各課で現場のニーズに応じた「やさしい日本語」ツールの作成

在住外国人

インバウンド

多文化共生

民間企業

教育

事業実施による効果

1. 「やさしい日本語」の周知、啓発
2. 都市交流室の役割周知
3. 各課のノウハウを活かした現場で使えるツール
4. 各課、横のつながり強化
5. 関係機関へのノウハウの提供
6. 業務の効率化